* 「個人シート」の一例…児童の実態、個人目標、支援方法、評価を記載している。

個人シート

|  |
| --- |
| 教育支援計画より　　・表情や身振り、発声等で意思表示することができる。　　　　　・頭部を保持する力を高めることができる。 |
| 個別の指導計画より　・音楽を聴くことで表情や身振り（目や手、足の動き）を通して快の気持ちを表出できる。楽器を音に合わせて鳴らすことができる。素材の感触を楽しむことができる。身体を動かして楽しむことができる。・両腕で身体を支え、座位姿勢を30秒間保つことができる。目的を理解して手を動かすことができる。自分の意思を目線や口元の動き等の表情や手を伸ばす等の身振りで伝えることができる。 |
| 実態（チェックリスト） | （聞くこと）特定の人（家族や担任）に声をかけられると視線を向け、その人の方を見ようと身体を動かすことがあるが、精神状態でムラが大きい。 |
| （見ること）絵本や動画は２～３分間じっと見ることができる。特定の人（家族や担任）はじっと見ることが多い。　　　　　　頭部の保持が難しく、すぐに下を向く。興味がある物に関しては顔を上げたり、動かしたりして見ることができつつある。 |
| （要求）　　好きな歌を歌ってあげると声を出して笑うことが多い。歌を止めると笑いを止め、もう一度歌うと再び笑う。　　　　　　好きな活動を止めると笑いが止まったり、手足をバタバタ動かす行動を止めたりすることがある。 |
| （手の動き、身体の動き）移動や音、状況の変化場面で筋緊張が入ることが多い。見たい方向へ身体を動かそうとする。持続は難しいが、５秒程度顔を上げることができる。 |
| （人間関係）身近な人（家族や担任）を見たり、声が聞こえたりすると声を出したり、手足をバタバタ動かしたり、身体に力を入れたりして喜びを表現する。 |
| 個人目標1. 顔を上げ、対象を見ることが

できる。（人や物、光など） | 評価基準 | １　対象に対して、無反応または覚醒がみられない。２　教師が顔を上げてあげると、一時的に対象を見る。３　言葉かけ等の促しを続けることにより、断続的ではあるが対象を見る。４　対象に気づくと、自分で顔を上げ、30秒間ほど対象を注視する。５　自分で目や顔を動かし、対象を追視する。（２ｍの範囲内、左右180度くらい、上下90度くらい） |
| （支援方法）・視野に入るように、見やすい姿勢や位置を配慮する。・対象に気づくように、適宜言葉かけする。 | 評価・気づき | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ |
| 　　 |  | 　　 |  | 　 |  | 　 |  | 　 |  |
|  |  |  |  |  |
| 1. 対象物に手が触れると、指先を動かすことができる。

（いろいろな素材の感触）（スイッチ操作） | 評価基準 | １　無反応である。２　手に触れた対象物を一瞬だけ見る。３　手に触れた対象物を見て、手を動かす。４　手に触れた対象物を見て、指先を動かす。５　手に触れた対象物を見て、手を動かしさすったり、握ったりする。 |
| （支援方法）・興味関心が高い物を活用する。・対象物が視野に入るように動かす。・手を動かしやすいような姿勢が保持できるように支援する。 | 評価・気づき | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

※「自発的な活動チェック表」 … 授業中の児童の活動を項目ごとに評価する。（放課後）

【自発的な活動チェック表】

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 具体的な視点 | ／ | ／ | ／ | ／ | ／ |
| 聞くこと | ・呼ばれるとそちらを向く。・声がする方を向く。・話す相手を見て、話を聞く。 |  |  |  |  |  |
| 見ること | ・対象物をじっと見る（注視）。・対象物を目で追ったり、顔を動かしたりして　見る（追視）。 |  |  |  |  |  |
| 要求 | ・快、不快などの感情や意思を表出する。（泣く、笑う、嫌がる、怒る、言葉を発する、など） |  |  |  |  |  |
| 手の動き身体の動き | ・親しい人やおもちゃなどに向かって、手を伸ばす、触るなど、意図的に手や身体を動かす。 |  |  |  |  |  |
| 人間関係 | ・身近な教師に対して、自分から視線を向けたり、声を出したりする。 |  |  |  |  |  |

評価基準　５（何度も自分でできた）　４（自分で１～３回できた）　３（積極的な促しでできた）　２（教師の支援を受けながらできた）　１（できなかった）